



取扱説明書

Visit us online:
<http://www.modernity.jp>



この度は本製品をお買い上げありがとうございます！

この製品は地球の緑を大切にするエコ・テクノロジー製品で、無駄のない生活を考えるために作られました。お客様の家庭菜園の栄養に、そしてより良い世界にする。

本書を読めば使い方やお手入れ方法はもちろんFoodCycler™の特長や機能を理解することができます。

安全で効果的な使用のためにも、使用前に必ず本書を最後までご一読ください。FoodCycler™は一般家庭用とオフィス用に向けた製品です。

その他の機能、万が一のトラブルに関するヘルプ・安全情報は
モダニティ・サイトをご確認ください：

<http://www.modernity.jp/>

もくじ

ご使用のまえに	4
安全にお使用いただくポイント	5
製品の仕様	6
本体の名称 Foodcyclerをよく知ましょう:	7
商品の特長	8
操作方法	9
操作の説明	10
効果的にご使用するヒント	11
安全にご使用いただく為に	12
カーボンフィルターの交換方法	13
お手入れ方法	14
故障かな？と思ったら	15
製品保証と連絡先	16

ご使用のまえに

この製品は一般家庭用および、以下の用途に使用される事を想定し作られております。

- ご自宅のキッチンの水気のない水平な場所。
- 事務所・または店舗内スタッフ用給湯スペース。
- ホテル・宿泊所の客室。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方。交流100V以外の場所では使用しない。

Foodcyclerをご使用する時は、必ず基本的な安全上の注意をお守りください。
人への危害・財産の損害を防止する為、必ずお守りいただく事を説明します。

警告：

- 本体およびコードが水直接当たる場所では絶対に使用しないで下さい。
- 本体の上にお子様登らない様にご注意ください。
- 子供・幼児に使わせない。思わぬ所を触る事によるやけど・感電防止。
- 水平で安定した場所に設置・ご使用下さい。
- 本体内部を水洗いしない。感電・発火の防止。
- 食べ物以外の物。アルコール文を含むもの(酒かす・アルコール漬けの果実。葉草など)
柑橘類(みかん・レモン・オレンジなど)の皮は一度に多量を入れない。
発火・異常作動の恐れがあります。

X 絶対に自分で分解・修理・改造はしない。

- 電源コード・電源プラグを破損する様なことはしない。
(傷・加工・無理に曲げる・引っ張る・重いものをのせる・熱器具に近づけることはしない。)
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。
- 異常・故障を感じた時には直ちに使用を停止し電源プラグを抜く。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
- お手入れ・点検の際は電源プラグを抜き、定期的にお手入れを行なってください。
(プラグにホコリがたまると、発熱・火災の原因となります。プラグを定期的に抜き、乾いた布でふき取る。)
- 屋外では使用しない。

注意：

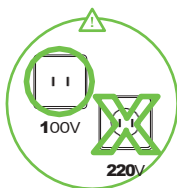
- ガス・石油類・高純度アルコールなど引火性の強いものを本体使用中には2m以内に近づけない。
- 運転中は本体が熱を持ちます。使用する際、壁から約5cm離してください。
- 長時間使用しない場合、電源プラグを抜いておく。
- 運転中はふたを開けない。
- ふたの開閉部をもって本体を持ち上げない。
- ふたのロックをしっかり閉じて運転を開始してください。
- 本来の目的以外を使用しますと、故障の原因となります。本来の目的以外での使用はしないで下さい。

⚠ 安全にお使いいただくポイント

The FOODCYCLERは一般家庭での仕様で屋内専用です。
本体・電源コードを水で濡らさない。



電源プラグに壊れ・傷を見つけたら、
絶対に使用しないで下さい。



100V電源のみ使用できます。
濡れた手でコンセント差し込みはしない。
コンセントは常に清潔にしてください。



ストーブ・ヒーターその他発熱する
家電の近くでは 使用しない。
必要以上の熱を持つことは故障・
火災の恐れがあります。



直射日光の当たらない
場所でご使用ください。



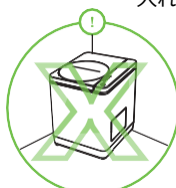
サラダ油・高純度アルコールなど可燃性
の高いものには使用できません。
水・ジュースなど水分が多量なものも
故障の原因となります。えびの殻・
貝殻・鳥/牛の骨など、通常食べない
部分は処理ができません。バスケットに
入れないでください。



分解・改造・ご自身での修理は
しないでください。もし
故障かな？と思った場合は
直ちに運転を中止して
MODERNITY.JPまで問い合
わせてください。



運転中は本体内部が高熱
になります。運転中にふたを
開けないでください。
また、運転中に本体を長い
時間触る事もやけどの原因
となります。
お子様の手の届かないところ
でご使用ください。



運転する時は周りの壁から
5cm以上離してご使用く
ださい。
通気性のいい場所で、熱
のこもらないようにご注意く
ださい。



水平な場所で本体
を立たせた状態で
ご使用ください。
寝かした状態で
使用できません。

製品の仕様



概要	仕様
製品名	FoodCycler
型式	FC-30
加工工程	乾燥 / 攪拌 / 冷却
設置方法	独立式
入力	100V-, 50-60Hz
出力	500 W
運転時間	3-6時間
最大容量	約2リットル
乾燥後の減量率	80%-90%
脱臭・消臭方法	“活性炭方式”
本体重量	9.0kg
本体サイズ	28 cm x 32 cm x 36 cm

本体の名称

Foodcyclerをよく知ましょう

まず、それぞれのパーツの名前を知りましょう。そうする事でFoodcyclerの性能を十分に生かすことができます。

下記はFoodCyclerのシステムを構築する主要部分です。

パーツ：

1. FoodCycler本体
2. 脱着式 生ゴミ・バスケット
3. カーボン(活性炭)・フィルター
*2本セット
4. 本体ふた



初回開封時に全てのものが揃っているか確認してください。

不足のものがある場合、お買い上げの店舗またはMODERNITY.JPまでお問い合わせください。

商品の特長

FoodCycler's™はとても安全で簡単・シンプルな方法で生ゴミを無臭・分解します。
FoodCycler™は下記の特徴をもっています。

特徴	動作
ふたのロック	生ゴミを安全に乾燥・分解・活性化させるためにロックし効果的な処理を促進します。
スタート/ストップボタン	運転開始または途中で止める時に押します。 * 通常は開始のみ。もし異常を感じたらストップして下さい。
鋳造生ゴミ用バスケット	丈夫な鋳鉄製のバケツ。食器洗浄器でも使用可能です。 長持ちするように特殊保護コーティングされています。
カーボン・フィルター	生ゴミを分解するプロセスで発生する異臭をろ過するために使用されます。
フィルター交換時期 インジケーター	フィルターの交換時期をお知らせするライト。本体上部に付いています。バックパネルを開け、フィルターを交換した際、バックパネル上部のポッチがリセットボタンとなっています。
乾燥中お知らせ インジケーター	運転開始する第 1 工程。生ゴミを乾燥させる時に光ります。
グランドお知らせ インジケーター	乾燥後、細かくグランド（分解）させる工程時に光ります。
冷却時お知らせ インジケーター	最後の工程として生ゴミを冷却します。冷却時をお知らせする時に光ります。

操作方法

前ページまでお読みいただけましたら、あなたはFoodCycler™のスペシャリストです。
さあ、次は生ゴミを栄養豊富な土壌に変える方法を学びましょう！

FoodCycler™を安全かつ効果的に活用するために下記のステップに従って下さい。

セットアップ（ご使用前の準備）：

STEP 1

本体背部の爪を開け、上部の保護シールを剥がします。 ①～②
カーボンフィルターとフィルターキャップを背面に固定します。 ③～⑤



STEP 2

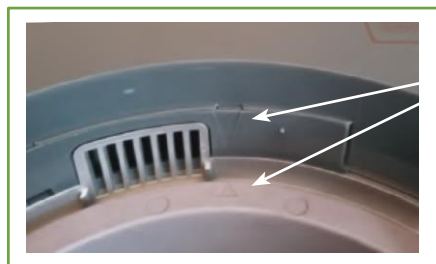
家庭用コンセントを優しく差し込むと、本体スタートボタンが点灯します。
スタンバイ機能が作動します。

STEP 3

本体上部のふたを開けます。開ける時、上部のイラストに沿って反時計回りに
ふたを回すとふたロックが解除できます。ふたのロックは時計回りに回します。
きちんとふたがはまるように、本体の三角の矢印と、ふたの三角の矢印を合わせ
て開閉してください。

STEP 4

生ゴミバケツにある三角の矢印を正面から12時（真上）にして、本体の
三角（矢印）と合わせるとバケツが深く沈み、固定されます。



写真のように矢印を合わせます。

操作の説明

- STEP 1** 本体上部ふたを反時計回りにまわし、開ける。
- STEP 2** 生ゴミバスケット（バケツ）を本体より取り出す。
- STEP 3** バケツ上部の溝（上限ライン）まで生ゴミを入れます。
- STEP 4** バケツをFoodcycler本体に戻します。（矢印を合わせて固定します）
- STEP 5** 本体上部ふたを時計回りにまわし、ふたをロックします。
- STEP 6** ふたをしっかりロックしていたら、匂いは漏れませんので、2～3日ゴミをため、いっぱいになってから作動しても大丈夫です。容量は一度に1.5kgを超えないようにご注意ください。
- STEP 7** 運転を開始するには、スタートボタン（ブルー）を一度押します。ただそれだけです・運転が終了すると、自動的にスタンバイモードに戻ります。
注意：万が一、運転中に停電になりましたら運転は中断されます。その時は再起動して下さい。工程は最初からやり直しとなります。
- STEP 8** FoodCyclerを完全にシャットダウンするには、電源ボタンを 3 秒間長押しします。バスケットにゴミを残しておくとも臭いを放ちます。加工前・加工後にかかわらずご使用にならない時は、バスケットを空にする事をお勧めします。

FOODCYCLER™処理時間

FoodCyclerの処理にかかる時間は平均で3- 6 時間となります。処理を行う残り物の種類・水分量によって異なります。特に乾燥・冷却時間に変化があります。運転開始をした最初の30分は、特に本体が熱を持ちます。特に蓋には触れないで下さい。火傷の恐れがあります。**開始後 1 時間は本体を触らない**よう注意してください。

効果的にご使用するヒント

ユニットの電源を入れ続ける事で空気を循環させ、生ゴミを自然乾燥させる事ができます。

注意：FoodCycler™のスタンバイモードONを続けた場合、1ヶ月あたり2kWh(およそ32円)です。

鋳鉄製のバスケットは落としたりぶつけたりしないでください。強い衝撃を与えるとヒビが発生する場合があります、処理の性能に影響を与える可能性があります。もし、交換用のバスケットが必要になりましたら、MODERNITY.jpまでお問い合わせください。

以下の食材の割合が増えますと、理想的な処理・分解生成ではなくなります。均等な割合に混ぜ合わせるにより、より理想的な栄養価の高い生成物を作ることが実現できます。

- デンプン（お米・パン・ケーキ・芋類など）
- 柑橘系果物の皮
- 調味料・ドレッシング・ソース
- ナッツ系バター
- ジャム・ゼリー・マーマレード
- 糖分の高いフルーツ（ぶどう・チェリー・メロン・オレンジ・バナナなどの果肉）
- その他油分・水分の多いもの



これらの成分が多い場合は処理生成しにくく、処理に時間がかかります。

安全にご使用いただく為に

下記、全て故障の原因となる物です。絶対に避けてください。

- 可燃物・金属物・ガラス・牛・豚・鳥の骨・貝殻・多量な卵の殻・つまようじ・割りばし・ラップなど食べられないもの、固形物をバスケットに入れ運転をしないでください。
- よく紛れがちなものとして、輪ゴム・プラスチック容器・プラ製ばれん・ラップ・葉野菜を束ねる針金、お弁当についている調味料袋・アルミホイル・紙製仕切り板などにもご注意ください。
- あめ（キャンディー）・ガムも入れないようにご注意ください。
- 暖房機・コンロの付近など熱くなる場所、キッチン水回りなど水気の多い場所での運転は事故の原因となります。絶対にしないでください。
- 本体および電源コードの分解・改造・ご自身での修理は絶対に行わないでください。
- 直射日光の当たる場所。室温が高温になる場所へ保管しないよう避けてください。
- 運転中はふたを開けたり内部を触ることはしないでください。
- 運転させる場合、本体を壁から5センチ以上離してご使用ください。
- ご使用前に本体が平らな、安定する場所に置かれているか確認してください。
- バスケットのない状態で生ゴミ(食品廃棄物)を機械に直接入れないでください。
バスケット(バケツ) が本体にある状態を確認するか、外した状態のバスケットに生ゴミを投入し、本体にバスケットをセットしてご使用ください。

カーボンフィルターの交換方法

カーボンフィルターの交換時期が来ますと、本体上部「Change Filter」ランプが点灯します。フィルターを定期的に交換することは、生ゴミを無臭化・分解生成を効果的に処理するためには不可欠です。総合運転時間がおおよそ500時間に近くなりますとフィルター交換時期となります。新しいフィルターはMODERNITY.jpで問い合わせが可能です。

- STEP 1** 背面のフィルターカバー 上部にあるツメを下げ、カバーを外します。
- STEP 2** 古いフィルターのダクトキャップを外し、反時計周りに回転しフィルターを外します。向かって 1.左側 2.右側の順番で外します。
- STEP 3** 新しいフィルターを用意し、上下についている保護ラベルを剥がしてください。
- STEP 4** 向かって1.右側 2.左側の順番で取り付けます。フィルターを時計回りで固定させます。その後上部にダクトキャップをかぶせ、固定させます。
- STEP 5** フィルター 上部にダクトキャップをかぶせ、固定させます。
- STEP 6** 上部○印に小さなボタン(リセットボタン)を3秒長押ししますと、「Change Filter」ランプが消灯します。消えたらSTEP1で外したカバーを取り付けたら交換作業は完了です。



注意：初めてご使用の場合、2本のフィルターはすでにセットされていますが、上部の保護シールは剥がしてお使いください。

カーボンフィルター交換時の事項

2本のフィルターは同じタイミングで交換してください。どちらか片方の交換ですと、生ゴミの消臭機能が低下します。

フィルターがしっかり固定されているか少し揺らして確認してください。揺れてしまう場合、しっかり固定されていない可能性があります。その場合、ねじ込みをやり直し、しっかり固定してください。深くまで固定できない場合、保護ラベルを剥がすことを忘れていないか確認し、ラベルを剥がしてください。

交換用フィルターのご注文はMODERNITY.jpまでお問い合わせください。

お手入れ方法

FoodCyclerをお手入れすることで、永くご使用でき、あなたのサステナブルな生活に貢献します。
本体・バスケット両方を清潔に保つことができます。
お手入れは難しくありませんが、事故のないように慎重に行ってください。



- STEP 1 柔らかい布を中性洗剤を入れた水に少量つけます。
(目安：2 Lの水に小さじ1/4)
- STEP 2 湿り気で汚れを浮かします。
- STEP 3 浮いた汚れをそのまま拭き取ります。
- STEP 4 乾いた布巾で残った水気を完全に拭き取り乾かします。

注意！ FoodCyclerのお手入れは外装だけで大丈夫です。直接水を掛ける・浸すことは事故に繋がりますので絶対に行わない。

FoodCycler内の鋳造バスケットは特殊な保護コーティングを施しています。コーティングは生ゴミの処理生成を効果的に助けています。約 5 ～ 6 回ご使用ごとに洗い、付着物を取り除くことがコーティングの劣化を防ぎます。バスケットの清掃時は本体の蓋も外した状態でこもった二オイを減らしてください。

バスケットのお手入れ：



- STEP 1 本体からバスケットを取り出します。
- STEP 2 比較的容易に除けるものを取り除きます。
- STEP 3 バスケットを上下反対向きに食器洗浄器に置きます。
- STEP 4 食洗機を温水で運転させます。
- STEP 5 洗浄後、とても熱いのでご注意ください。しばらく冷ましてから食洗機より出します。

故障かな？と思ったら 自己診断

エラーの種類		エラー1	エラー 2	エラー 3	エラー4	エラー5	エラー 6	エラー 7	ドア・オープン
表示内容		モーター過負荷	モーター切断	ヒーター動作不良	ヒーターセンサー不良	排気温度不良	排気センサー不良	排気ファン不良	フタが閉まっていない
DISPLAY	パワー (青色の光)								■
	枯渇 (緑色の光)	■			■	■		■	
	粉碎 (緑色の光)		■		■		■	■	
	クーリング (緑色の光)			■		■	■	■	
	異常警告音	異常発生時、音が5回なります							

- ランプ点滅(異常)
 ■ ランプ点灯(正常)

製品保証と連絡先



本製品にはお買い求め後 1 年間の保証がついています。
お買い求めいただきました販売店のレシート。購入記録となるものは
大切に保管をお願いします。
万が一、不具合が発生した場合は、ホームページMODERNITY.jp内
カスタマーサポートまでお問い合わせください。

Product Name: FOODCYCLER

Model Number: FC-30



MODERNITY

モダニティ 株式会社
東京都港区東麻布1-23-5
PMビル3F

www.modernity.jp